

R6-04

熊のハザードマップ「くまっぷ」作成を通じた探究活動

- 管内 留萌管内
- 分類 通学路の点検 防犯教室・防犯訓練 安全マップ
スクールガード・リーダー等の活用 その他（ ）
- 教育課程 教科（体育科） 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 1 地域の関係機関等と連携した、危険箇所等の把握
- 2 生徒が当事者意識をもち、主体的に地域課題に取り組む工夫
- 3 害獣被害を想定した害獣ハザードマップ（くまっぷ）の作成

取組の実際

ねらい

- 生徒が、地域の関係機関と危険箇所等を把握することで、居住地域にある危険箇所や生活安全に対する意識を高める。
- 生徒が、ハザードマップ作成を通して、地域住民とともに生活安全に対する考えを共有し、率先して行動できる「地域の担い手」となるための素地を育む。

内容

1 地域が抱える問題と解決策の検討

苫前町内において、熊の目撃情報が多数寄せられたことから、苫前町内の害獣被害の減少に向け、熊と遭遇しやすい危険な場所を可視化する熊のハザードマップ「くまっぷ」を作成することとした。

2 地域の関係機関等と連携した活動

- (1) ヒグマ防除・捕獲技術研修会への参加
北海道留萌振興局主催の「ヒグマ防除・捕獲技術研修会」に参加し、熊の危険性や熊害、熊の捕獲・防除法について学んだ。
- (2) 苫前町からの熊出没情報の提供
苫前町役場等から、熊の目撃情報の詳細（目撃年月、目撃場所）について、情報提供を受けた。

3 「くまっぷ」の作成

被害の危険度に応じて、熊が目撃された場所に近い民家を濃い赤で、民家を薄い赤で表し、危険と判断される自然豊かで熊が住みやすいと考えられる生活範囲（緑）と重なる部分を黒い線で囲う等の工夫をし、熊が目撃された場所についてマークした。

4 地域パネル展への参加

啓発に向け、作成した「くまっぷ」を、苫前町で開催された「ヒグマパネル展」にて学習成果として展示し、町民へ周知した。



【熊のハザードマップ「くまっぷ」】

成果と課題

- 地域及び関係機関と協力してハザードマップを作成することで、生徒が地域課題に対して主体的に考えを深め、活動することができた。
- ポスターについて、より多くの人に周知する機会を設定する必要がある。